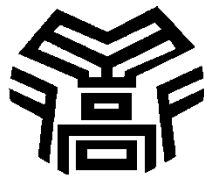


令和 4 年度

学 校 教 育 計 画



大阪府立伯太高等学校

(全 日 制 課 程)

目 次

1	学校教育活動の方針	1
(1)	学習指導の方針	1
(2)	特別活動等の方針	6
(3)	道徳教育及び生徒指導の方針	8
(4)	進路指導の方針	11
(5)	人権尊重の教育の方針	14
(6)	健康管理と指導の方針	16
(7)	学校組織の運営方針	18
(8)	教職員の研修方針・研修計画	19
2	校 務 分 掌	20
(1)	校 務 分 掌 表	20
(2)	学年主任、ホームルーム担任一覧表	21
(3)	生徒会活動、部活動担当者（顧問）一覧表	21
3	行事予定表	23
4	教育課程表	27

1 学校教育活動の方針

(1) 学習指導の方針

1. 本年度の達成目標

- (1) 総合学科の長所を活かし、系列と多様な選択科目により、学習への興味・関心・意欲とともに、達成感と自信、「やる気」を育成する。同時に、授業内容と方法、教育課程の工夫・改善をより一層すすめて、「わかる」授業づくりと基礎学力の育成をはかる。

ア 新学習指導要領の実施に伴い、特に観点別評価について、評価と検証を学期毎に実施することにより、適正に実施する。

イ 公開授業や研究授業、授業アンケートを効果的に活用した授業改善に組織的に取り組み、その成果を各教科で共有し、授業力の向上に努める。

※生徒向け学校教育自己診断における「授業がわかりやすい」の肯定的評価を令和 6 年度で 85%以上(令和 3 年度実績=79.4%)とする。

- (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業を推進し、協同学習を行うとともに、生徒一人ひとりのプレゼンテーション能力の向上に努める。その実践や成果を共有して、全生徒の「自ら学ぶ力」の向上に資する取組みを工夫する。

ア P T A、同窓会、後援会と連携して、教育活動の推進に努める。学校教育自己診断の「自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」の肯定率が令和 6 年度で 80%以上(令和 3 年度 67.6%)

- (3) 様々な資格取得や、他の教育関係機関との連携を視野に入れ、地域の教育的資源の活用に努める。

ア 地域の人材・施設の活用を積極的に取り入れ、地域のニーズも取り入れながら、双方向の人材育成となるよう努める。

(4) 各教科の達成目標

(ア) 国語科

現代文 ・様々な文章に触れることを通して、語彙力や漢字力等の基本的な学力を養成する。

・作品の読解力として、要約能力と鑑賞能力の充実をはかる。

・作者や登場人物のものの見方や生きる姿勢を学び、自己に向き合う姿勢と態度を養成する。

・上記一連の学習を通して、自己表現能力とコミュニケーション能力の向上と充実をはかる。

古 典 ・古文・漢文を繰り返し音読することを通して、古典の世界に慣れ親しみ、基本的な学力を養成する。

・古典読解の基礎学力の充実と共に、昔の人のものの考え方や感じ方を学ぶ。

・古典の世界を味わい、現代生活の中で活かす能力を養う。

(イ) 社会科

日本史…個々の歴史的事実を正確に把握し、時代の大きな流れのなかに位置づけて理解する態度を養う。

世界史…世界の歴史を学ぶことにより、世界の諸民族の歴史を正しく認識し、国際社会における相互理解を深める。

現代社会…人間の尊重と科学的な探求の精神にもとづき、広い視野に立った現代社会に対する判断力の基礎と、人間の生き方について自ら考える力を養う。

地理…世界及びわが国の地理、とりわけ自然地理学、人文地理学、地誌などの学習を通して、世界各地域、そしてわが国に対する理解を深める。

(ウ) 数学科

- ① 基礎的事項を徹底的に指導すると共にその定着をはかる。
- ② 放課後の個人指導や定期的な集団指導を行う。
- ③ 1年次に2クラス3展開し、目の行き届いた授業を行う。

(エ) 理科

- ① 自然現象に対する興味・関心を促し、日常生活と自然との関係性を科学的に考える力を養う。
 - ② 実験機器や設備の充実をはかり、実験・観察の機会を多くする。
 - ③ 理科の各科目及び他教科との連携を密にし、科学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。
- ・化学基礎……物質とその変化への関心を高め、化学的に探求する能力と態度を育てる。
- ・科学と……身の回りの事物・現象や科学技術を題材に、科学的な見方や考え方を養い、人間生活に、科学に対する興味・関心を高める。

(オ) 保健体育科

- ① 健康で安全な生活を営むため、日常生活において健康について考える習慣づけをはかる。
- ② 1年次は個人の発達、2年次は社会性の習得、3年次は生涯スポーツに重点をおき、体力の向上と健康・安全に留意して自主的に運動を実践する態度と能力を身につけさせる。
- ③ 配慮の必要な生徒を含めた集団活動づくりをし、全体的な活動と個々に応じた活動との調整およびその評価についての研修・実践の充実をはかる。

(カ) 芸術科

- ① 芸術科の学習を通し、直感的な思考力や創造的な構想力を養い、表現する喜びを体得させる。
- ② すぐれた文化的芸術的な作品に接することによって鑑賞力や自分で表現する力を養い、また相互鑑賞の中でコミュニケーション力を身につけさせる。
- ③ 芸術科における基本的な技術や知識を身につけさせ、その能力を自己表現の場で発揮できる力を養う。

(キ) 外国語（英語科）

本校生徒各々の学習到達度には大きな差異があるので、その実態に対処するため、次の点に留意して指導していきたい。

- ① どの段階の生徒も積極的に参加できる授業を研究、開発していく。具体的方策として補充問題をプリントして与え指導していく。
- ② 観点別評価のことも踏まえ、到達度の低い生徒の早期発見につとめ、放課後の補充指導や個別指導を行う。
- ③ 観点別評価のことも踏まえ、到達度の高い生徒や学習意欲をもった生徒に対して、放課後個別に補習を行い、自主的学習の習慣化をはかる。
- ④ 習熟度別少人数展開授業を実施し、きめ細かな指導を試みる。
- ⑤ 大阪府外国人英語講師とのT-Tを取り入れ、生徒が興味をもてる授業を展開する。

(ク) 家庭科

- ① 人の一生と家族・家庭、及び福祉、消費生活、衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
- ② 子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。
- ③ 手芸の種類、特徴及び変遷、各種手芸の技法などに関する知識と技術を習得させ、手芸品を創造的に製作し、服飾に活用する能力と態度を育てる。

(ケ) 情報科

情報通信ネットワークを通してコミュニケーションするための基礎的な知識、技術を身につけさせる。実技ではティーム・ティーチングを実施し、全体により深い理解をさせる。具体的には、次の事柄を目標とする。

- ・パソコンで日本語の文章が入力できる。
- ・プレゼンテーションソフトを用いてプレゼンテーションを作成、発表できる。
- ・情報を収集、加工、発表できる。
- ・文書作成ソフトを用いて、文書の作成ができる。
- ・著作権、情報社会でのモラルについて基本的なことがらを理解している。

(5) 総合的な探究の時間

「総合的な探究の時間」として、「グローバル・スタディーズⅡ」「グローバル・スタディーズⅢ」を開講している。「自分と社会の関係を身近な視点と大きな視点で見つめ、自身の進路を切り拓くための時間」として取り組む。

- ① ありのままの自分を受け容れ、その延長に他者を尊重する態度を育む。
- ② 具体的な人間の生き方を通してこれまでの自分を対象化し、これからの自分の姿を想像する力を養う。
- ③ さまざまな教材を通して個々の問題に気づき、意識化することで、その解決のための知識・技能を育む。
- ④ 「進路への自覚」を促し、自己と社会の関係を総合的に理解し行動する能力の育成をはかる。
- ⑤ さまざまな課題を調べ、発表する経験を通して、自ら課題を見つけ解決する力を養う。

以上を留意点として、進路指導部・人権教育委員会との連携を図りながら、人権教育の視点をもち、キャリア教育の創造をめざすものとして取り組む。

(6) 産業社会と人間

自己啓発的な体験学習やグループワークなどを通して、職業の選択決定に必要な能力、将来の職業生活に必要なスキルやコミュニケーション能力を養うとともに、自己の充実や、生きがいを目ざし、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を育む。また、現実の産業社会や、その中での自己の在り方・生き方について認識させ、豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度を育成する。

- ・人間関係づくりや意見交流をはかり、体験学習等を通して試行錯誤しながら自分らしさを見出す。
- ・職業の選択決定に必要な能力・態度、また将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養うとともに自らの適性に合った科目選択を行う。
- ・若者に関する雇用の問題や多文化共生等に関する社会的課題を学び、社会参加のためのスキルやメディアリテラシーの力を養う。
- ・豊かな社会を築くために積極的に寄与する意欲や態度の育成を図る。

以上をもとに、各分掌と連携を図りながら、キャリア教育の創造を目指すものとして取り組む。

2. 学習指導方法等の研修計画

(1) 年間計画に従い、学習指導等について研修の場をもつ。

職員会議…各学期末の成績会議の場で生徒の実態、指導内容等の情報交換をおこなう。

原級留置者・中退者の防止および観点別評価の運用のための研修をおこなう。

学年会議…毎週月曜日の学年会議の場で学級担任と教科担任との情報交換をおこなう。

定期考査毎に学年の全授業担当教員で行う成績会議で、教室での生徒の状況や成績について研修する。

教科会議…教科会議で、教科指導計画、指導法、指導内容の取り扱いについて常に検討する。

(2) 教育課程・学習評価に関して、個々の分野を通して専門的な研究をすすめる。

(3) 研修機関が実施する研修会・研究会等に積極的に参加し、研修を重ねる。

3. 学習指導の改善と原級留置・退学の防止

- (1) 進級内規が法令の趣旨に沿い、生徒の実態に合うよう整備に努める。
- (2) 生徒の成績判定は、教科会議、学年会議、成績判定会議（議長は教頭、構成は全教員による）の3つの会議を経て校長が決定する。規定内の単位不認定科目を持つ生徒については、追認指導を行い、単位認定ができるよう努める。
- (3) 事前指導を含む救済措置など、こまめに指導し基礎学力の定着を図る。
- (4) 成績不振者に対しては、放課後等の指名補習や特別課題を課するなど、きめ細かな指導を講じる。
- (5) 毎週行う学年会議で情報交換を行い、学年全体としての指導方針を確認し実行する。また各考査後の学年成績連絡会議を利用して全担当教員が課題の多い生徒の状況を把握することに努める。
休みがちな生徒に対しては、担任から毎朝家庭に電話をしたり、授業担当者による積極的な声かけなど、きめ細かな指導に努める。
- (6) 保護者との連携は担任を中心とした電話、個人面談、家庭訪問等を通じて、連絡を密にする。また、6月中旬、11月中旬に三者懇談期間を設ける。また必要に応じて担任を中心として指名懇談を実施する。

4. 年間授業日時数の確保についての措置

- (1) 年間行事の精選
実授業日時数を確保するため学校行事を精選し、学力の向上をはかるべく計画する。
- (2) 自習時間の補充
出張等のある場合、事前に時間割変更を行う。変更が不可能な場合は当該教科内あるいは各学年教務が割り当てた担当者による自習を行う。ただし、課題やテキスト等を必ず準備し、教科指導の空白を作らないよう配慮する。
- (3) 創立記念日や夏期休業中に補充授業を組み、授業日数の不足を補う。

(2) 特別活動等の方針

1. 本年度の達成目標

(1) ホームルーム活動

- (ア) 集団の一員として、一人ひとりの生徒が学校生活に適応し積極的に協力し合える体制をつくりあげる。
- (イ) 教科・科目の学習や生徒会活動等の基礎集団として自覚させると共に、ホームルーム成員間の人間関係の醸成に努める。

(2) 生徒会活動

- (ア) あらゆる機会を通じて、生徒の自主活動の向上をはかる。
- (イ) ホームルーム活動が生徒会活動の基礎であるという認識の下に、様々な行事・催しにクラス全体として取り組む体制づくりを、各種委員会を通じて追求する。
- (ウ) 体育祭・伯太祭を生徒会の重点行事として位置づけ、精力的に取り組む中で、生徒会執行部・各種委員会を積極的に担う人材育成をはかる。

(3) 部活動について

- (ア) 生徒相互の理解と協力、教員と生徒との理解をはかる。
- (イ) 適正な指導により活動効果を高める。

2. 特別活動の年間指導計画

(1) ホームルーム

(ア) ショート・ホームルーム

毎日、始業前および終業後にショート・ホームルームを行い、生徒の状況観察を行うとともに、朝学習に取り組む。

(イ) ロング・ホームルーム

木曜日の6限に実施し、学年の年間計画に沿ってクラス担任の指導によって自主的に行う。

ホームルーム計画

月	内 容		
	1 年	2 年	3 年
4	1年生のスタートにあたって オリエンテーション 進路アンケート キャリアパスポートファイル作成 学級役員選挙 クラブ体験 情報モラルHR	2年生のスタートにあたって 進路希望調査 人権HR 学級役員選挙 キャリアパスポート作成	3年生のスタートにあたって 学級役員選挙 進路説明会 進路希望調査 キャリアパスポート作成 進路HR（進路手引き配布）
5	体育祭について 考査に向けて 避難訓練	体育祭エントリー 薬物乱用防止HR 避難訓練	体育祭について 考査に向けて 避難訓練
6	体育祭集会 体育祭ふりかえり 交通安全講話 進路HR 薬物乱用防止HR 期末考査に向けて	進路HR 交通安全講話 体育祭集会 体育祭ふりかえり 薬物乱用防止HR	薬物乱用防止HR 体育祭集会 体育祭ふりかえり 選挙について
7	科目選択予備調査 人権HR 伯太祭に向けて	夏休みを有意義に過ごすには 人権HR 学年集会、期末考査に向けて	夏休みを有意義に過ごすには 期末考査に向けて 進路HR 人権HR 情報モラル講話
8		夏休みの反省と2学期への決意	
9	夏休みの反省と2学期への決意 伯太祭の企画について 系列・自由選択科目 選択指導	修学旅行に向けて 自由選択科目 選択指導	自己の進路に取り組む（進路HR）
10	中間考査について 伯太祭に向けて 学年集会	伯太祭のとりくみ 伯太祭に向けて 学年集会	中間考査に向けて 学年集会 伯太祭に向けて
11	伯太祭準備 伯太祭の反省、ふり返り 生徒会役員選挙 期末考査に向けて	伯太祭準備、 伯太祭の反省、ふり返り 学年集会 期末考査に向けて	伯太祭準備 進路HR 期末考査に向けて 生徒会役員選挙
12	進路HR 人権HR 期末考査に向けて 冬休みの学習と生活について	進路HR（進路別説明会） 人権HR 生徒会役員選挙 冬休みを有意義に過ごすために	人権HR 冬休みを有意義に過ごすには 卒業に向けて
1	冬休みの反省 学年集会 進路HR	進路に向けて 学年集会 進路HR	学年末考査に向けて 学年集会 卒業式について
2	1年生をふりかえる 学年末考査に向けて 進路HR、人権HR	進路講座 2年生をふりかえる 学年末考査に向けて、進級に向けて スポーツ大会	高校生活をふりかえって
3	学年の終わりにあたって	学年の終わりにあたって	

(3) 道徳教育及び生徒指導の方針

1. 本年度の達成目標

- ① 学校生活を意義あるものにするため、規律・規範意識を高めるよう個々の生徒の指導にあたる。
- ② 問題行動を未然に防ぎ、ルールを守ることができる生徒の育成を目指す。
- ③ 情報機器を利用したトラブルを防ぐため、情報モラル教育を人教委と協力して指導する。

2. 個別指導

ひとりひとりの生徒の持つ課題を明らかにして、解決するよう支援する。

- ① 様々な問題をかかえる生徒ひとりひとりに親身に向き合い、学年会議などの機会に積極的な情報共有を行い、教員がチームとなって指導にあたる。
- ② 問題行動を起こした生徒には、学校と家庭が連携を図り、背景をふまえた指導体制の確立につとめるとともに、関係機関との連携を図りながら問題の解決に努める。
- ③ 生徒の観察をきめ細かく行い、生徒の状況を的確に把握するよう努め、豊かな人間関係をつくる力を身に付けさせるよう支援する。

3. 集団指導

教職員があらゆる場面で責務を自覚し、生徒が集団生活の充実を図れるよう指導力の向上に努める。

- ① 定期的な学年集会などを通じて、集団生活の大切さを自覚させ、集団生活の意義を理解させる。
- ② 学校行事では、生徒会指導部やその他の係と連携、協力して指導にあたる。

4. 交通安全指導

(ア) 原付自転車・フル電動自転車の乗車について、家庭に指導への協力を求め、登校違反があった場合は、きめ細かな指導を行う。

(イ) 交通安全教育については特別の時間を設定し、諸機関の協力を得て講習会等を実施する。

4 月	入学式、1年生交通安全宣言、始業式・生徒指導の講話（全学年）、マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、情報モラル講習会（1年）
5 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、大阪府高等学校生活指導研究会、交通安全講和（1・2年）、登校指導強化日
6 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
7 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、情報モラル講習会（2・3年）、和泉警察署管轄内学警連絡会、終業式・生徒指導の講話（全学年）
8 月	始業式・生徒指導の講話（全学年）、マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）
9 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
10 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、大阪府高等学校生活指導研究会
11 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、大阪府高等学校生活指導研究会、学警連絡会（和泉警察署少年係）
12 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、和泉警察署管轄内学警連絡会終業式・生徒指導の講話（全学年）、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
1 月	始業式・生徒指導の講話（全学年）、マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、登校指導強化日、大阪府高等学校生活指導研究会
2 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、登校指導強化日身だしなみ指導（頭髪・服装）、堺・泉北地区高等学校校外補導協議会
3 月	マスク・体調管理指導、登下校時通学指導（学校周辺）、身だしなみ指導（頭髪・服装）、和泉警察署管轄内学警連絡会、終業式・生徒指導の講話（全学年）、合格者説明会・生徒指導説明

5. 学校図書館の利用指導並びに読書指導計画

(1) 運営

- (ア) 係職員と各クラス選出の生徒図書委員は全体奉仕の精神で日々の運営と管理にあたる。
- (イ) 職員は主として図書、雑誌、各種の資料の受け入れ、整理、会計等の事務処理を分担し、生徒委員の指導にあたる。
- (ウ) 生徒委員はクラスの生徒と図書館との間の情報伝達の役割を担う。
- (エ) 図書購入に際しては、利用者の意向を十分反映するよう予算の執行にあたる。

(2) 図書館利用指導と読書指導

- (ア) 一年生を対象とした図書館オリエンテーションをクラス毎に行う。
- (イ) 教科担当と連携して、適当な教材を提供する場として図書館を位置づける。
- (ウ) 広報活動を充実させる。

(3) 情操教育並びに生活指導との関連

- (ア) 館内では公共物の取扱いをていねいにし、生徒相互のよい人間関係がうちたてられるよう閲覧態度に特に注意する。
- (イ) 人間形成の一助として、また生涯教育としての読書の意義の重要性を理解させるとともに資料の調べ方に慣れさせる。
- (ウ) 読書による思索をすすめ、物の見方、考え方を養い、正しい判断力をつけさせる。
- (エ) 館内をうるおいのある環境とし、よき社会人となるための読書エチケットを守るよう配慮する。
- (オ) 図書館の蔵書管理にコンピュータを活用する。

蔵書データベースを作成し、図書貸出・返却、蔵書点検には、バーコードリーダーを活用し、処理の迅速化・正確を図る。併せて、蔵書検索、貸出統計も可能にし、図書館活用の一助とする。

(4) 進路指導の方針

高校生は、一生を通じて心身ともに発達する青年期を迎え、自我が目覚めるとともに、未来への理想を求める時期にある。その進路の設計に当たっては、客観的に自己を理解させるとともに、社会や職業についての幅広い理解に基づいて、最適な進路を選択させることが肝要である。

キャリア教育の観点に立ち、1 学年から 3 学年までその発達段階に応じた体系的な進路指導を産業社会と人間および総合的な探究の時間と連携して行う。外部諸機関の協力の下に、各自の進路設計をしていく中での気づきや進路決定のための体験学習の機会を数多く設ける。

同時に生徒自らの真摯な努力によって、自己の成長をはかり、自らの弱点を積極的に克服し、社会の一員としての自覚を高めることが必要であることを気づかせる。

上記実現のため、各学年における進路指導目標を次のように設定する。

- ・ 第 1 学年

高校生活への適応をはかり、自己理解を深めさせるとともに、社会や職業に関する理解を深めさせ、将来の進路について具体的な目標を追求する意欲をもたせる。

- ・ 第 2 学年

自己理解と職業理解を統合させることにより、各自が自己の進路目標を設定し、その目標を達成するためどうしたら良いか考えさせ、併せて、実力の涵養をはかる。

- ・ 第 3 学年

進路先についての状況や各自の実力を客観的に知る手立てを与え、能力・適正に応じた具体的な進路を選択させ、生徒の進路実現をはかる。

進 路 指 導 計 画

月	第 1 学 年	第 2 学 年
4	進路希望調査 基礎力診断テスト	進路希望調査 基礎力診断テスト
5	入学オリエンテーション 進路ホームルーム	進路ホームルーム
6	基礎力診断テストふり返り 校内進路ガイダンス	基礎力診断テストふり返り
7	進路ホームルーム	進路ホームルーム
8		オープンキャンパス
9	進路ホームルーム	進路ホームルーム
10	進路ホームルーム	進路ホームルーム
11	進路ホームルーム	校内進路ガイダンス
12	進路ホームルーム（職業講話）	
1		進路ホームルーム
2	進路ホームルーム	進路ホームルーム （3年進路選択に向けて）
3		

月	第 3 学 年	
	就 職 関 係 行 事	進 学 関 係 行 事
4	進路希望調査 校内進路相談会（面接指導）	進路希望調査 校内進路相談会（大学・短大・専門学校）
5	企業訪問 進路保護者説明会、保護者向け進路講演会	進路保護者説明会、保護者向け進路講演会 大学・短大・高看模試① 公務員模試
6	進路希望調査、校内進路相談会（就職） 学校斡旋就職申込書受付 校内進路説明会（就職）、外部講師の模擬面接	
7	求人票受付開始、進路大テスト 模擬面接（就職） 求人情報一覧表配布、求人票閲覧 面接指導	オープンキャンパス 大学・短大・専門学校説明会 （指定校推薦について）
8	応募前職場見学、求人票閲覧 就職受験申込票受付 就職者模擬面接 就職校内選考、就職応募書類作成	オープンキャンパス 大学・短大・高看模試②
9	就職希望者直前指導 就職試験（全員の内定まで） 公務員試験 就職応募書類発送、就職者模擬面接	模擬面接 指定校校内選考 進学説明会（指定校推薦出願説明会） 専門学校出願開始（AO） 大学・短大総合型選抜受付開始 大学入学共通テスト受験案内配布と出願説明会
10	国家公務員試験 地方公務員試験、地方公務員試験二次試験	大学入学共通テスト出願書類受付 専門学校入試受付開始
11	国家公務員二次試験 合同求人説明会 ①	関西の看護学校入試受付開始 私大・短大推薦型選抜受付開始
12	泉大津ハローワーク体験ツアー 就職セミナー①	看護学校以外の医療関係専修学校受付開始 大学入学共通テスト受験票交付
1		関西私大入試受付開始 各国公立大で二次試験願書受付 大学入学共通テスト実施 関西の看護学校入試開始 関西の私大入試開始
2	就職セミナー② 合同求人説明会 ② 就職支援登録カードの記入提出（希望者）	准看護学校・医療専修学校入試開始 国公立大前期試験実施
3		国公立大後期試験実施・私立大学後期試験実施 国公立大合格者発表

(5) 人権尊重の教育の方針

1. 基本方針

自尊感情を大切にし、自他ともに尊重できる豊かな人権感覚を育み、新たな人権文化の構築に寄与できる人材の育成を目指す。

2. 人権教育の発展

人権教育は、差別の現実から学ぶ教育実践をもとに同和教育としてはじまり、生徒一人ひとりが安心して学校生活を送り自らの可能性を引き出すことができる教育活動・学校づくりへと発展してきた。それは、総合的な学習の時間である「グローバル・スタディーズ（GS）」として具体化され、「進路保障は人権教育の総和である」といわれてきた進路指導についてもGSと合わせてキャリア教育として整理された。一方、さまざまな特性のある生徒に対しカウンセリング活動を充実させ、障がいのあるなしに関わらず生徒に必要とされる支援を行う体制の整備に努めている。

総じて一人ひとりの生徒が地域や社会づくりに参画し、多少の困難があろうとも人権文化の構築を担える市民として成長できるよう、本校での学びがその下地を育む教育活動を推進する。

3. 人権文化の4つの領域

GSでは「自分と社会の関係をグローバルに見つめ、自分の進路を切り拓く」力を育むことを教育目標としている。これは、人権文化(culture of human rights)の4つの領域とかかわり、①自尊感情とかかわる「個人の領域」、②文化や民族、障がいの有無、性的指向性が異なるなど他者との豊かな関係性を構築する「他者との関係の領域」、③社会に参画し問題解決のために行動しようとする「社会との関係の領域」、④環境問題や食や健康とかかわる「自然との関係の領域」になっている。この4つの領域を念頭に日々の教育実践を点検し、地域の課題と向き合うことによって、グローバルな教育実践を目指す。

4. 人権教育の4つの側面

本校は、産業社会と人間・総合的な学習の時間や人権HRをはじめ、教科指導、生活面での支援や指導など、あらゆる場面において人権教育を推進している。これは、人権教育の4つの側面と関連している。

- ①人権としての教育（教育機会の保障）
- ②人権についての教育（個別人権課題を通して人間に対する多面的な捉え方や文化・社会・世界に対する批判的な見方を育てる）
- ③人権を通じた教育（人権が尊重されている環境・雰囲気や関係性自体が人権感覚や意識を育む）
- ④人権のための教育（豊かな人権文化を築く資質や力量を備えた子どもを育てているか）

人権教育の4つの側面を総体として実践することによって人権教育の創造、すなわち、人権文化の創造をめざす。

5. 人権教育とキャリア教育

人権教育においても「進路保障は人権教育の総和である」という取り組みからキャリア教育へと発展してきた。キャリア教育は、学校生活から職業生活へとスムーズな移行のために必要とされる。そのためには、社会に適応できる能力の育成だけではなく、若年労働者が厳しい労働環境におかれている現状を見るならば、「社会との関係」においても働く者の人権を尊重し、自己実現をめざす力の育成に努める。

6. いじめ防止・対策委員会

いじめは、その子どもの将来にわたって内面を深く傷つけるものであり、子どもの健全な成長に影響を及ぼす、まさに人権に関わる重大な問題である。そのため、いじめを起こさない、生徒をいじめの被害者にも加害者にもしないという姿勢で、未然に防止することに力を入れている。全教職員が、いじめはもちろん、いじめをはやし立てたり、傍観したりする行為も絶対に許さない姿勢で、どんな些細なことでも必ず親身になって相談に応じることが大切である。そのことが、いじめ事象の発生・深刻化を防ぎ、いじめを許さない生徒の意識を育成することになる。

そのためには、学校として教育活動の全てにおいて生命や人権を大切にする精神を貫くことや、教職員自身が、生徒を一人ひとり多様な個性を持つかけがえのない存在として尊重し、生徒の人格のすこやかな発達を支援（いやゆる、人権を通じた教育）するという生徒観、指導観に立ち指導を徹底する。

7. 教育相談

(1) 目的

生徒は、日常的に人間関係、家庭環境の悩みや漠然とした将来への不安を抱えながら学校生活を送っている。中には、コミュニケーションでの課題を抱えている生徒も在籍する。

教育相談の目的として、支援を必要とする生徒や保護者が、相談活動を通してエンパワメントされることにある。そのためにまず求められるのは、生徒一人ひとりの自尊感情を育み、いじめや人権侵害がない人間関係づくりが求められる。生徒のさまざまな不安や悩みについて相談にのり支援できる教職員および学校としての体制を整える。

(2) 相談室体制

学校の教育相談機能の充実を図るため、大阪府立高等学校スクールカウンセラー（以下「SC」）やスクールソーシャルワーカー（以下「SSW」）が派遣されている。

- ① 人権教育推進委員が、教職員一人ひとりのカウンセリングマインドの向上のため、さまざまな情報提供や校内研修を実施する。
- ② ①を充実させるため、研修等に積極的に参加し、実践力向上に努める。
- ③ 生徒・保護者、教職員からの相談に応えるため、SCやSSWの活用の充実を図る。
SCとSSWの役割は、教職員へのコンサルテーションを基本とする。
教職員だけでは支援困難と考えられるケースについては、カウンセリングの実施や、適宜、外部機関との連携も含めたケース会議をもつことによって、生徒支援の充実を図る。
- ④ 必要に応じて、保健部や生活指導部との連携を図り、生徒が安心して学校生活を送れる学校づくりを目指す。
- ⑤ 保健室に、体調不良の生徒だけでなく、精神的不安をかかえ、居場所を求めて、来室する生徒も多い。そのような生徒の居場所づくりの一環として、相談室を昼休み開放し、保健室への生徒の集中を軽減したい。

(6) 健康管理と指導の方針

1. 本年度の達成目標

- ① 健康の意識を高め、保健的生活習慣の保持・増進をはかる。
- ② 安全と美化に対する意識を高め、豊かな心を育てる環境づくりをはかる。
- ③ 熱中症や各種感染症の予防と知識の普及をはかる。

2. 学校保健安全計画

(1) 学校保健計画

- ① 健康課題の早期発見
学校医・学校歯科医と緊密に連絡し、健康診断、健康相談の実施や、全職員の健康観察を通して健康課題の早期発見につとめ、教育上の連絡や対処を適正に行い早期治療と完全治癒の態度を養うようにする。
- ② 自発的な健康管理
平素より保健室の効果的利用を促し、意識を高め、自ら健康管理につとめられる能力を養う。
各種の機会を通じて「活動」「休養」「栄養」のバランスよい生活リズムをつくれるように促す。
- ③ 環境の整備と衛生美化
学校薬剤師との連絡を密にし、環境・衛生検査を励行し、正常環境の維持に努める。
清掃活動を励行するとともに自らのまわりを清掃する習慣・態度を養う。
保健委員、生活委員による環境美化活動を活性化し、美化意識の高揚をはかる。
- ④ 薬物乱用防止啓発
学校保健関係者や専門家と連携し、効果的な啓発活動について具体的な取り組みについて考え、普及活動に努める。
- ⑤ 熱中症を含む救急法の研修を計画・実施することにより、一層の安全確保に努める。又、各種感染症の発生防止のため、情報の収集や知識の普及をはかり個人の意識を高めさせる。

(2) 学校安全計画

- ① 安全点検を励行し、絶えず危険を感じない環境づくりをはかり安全に徹した行動習慣を養う。
- ② 施設・用具の正しい取扱いについての知識と技能を理解習得させる。
- ③ 危険を予測する能力を養い、危険が予測される場面で特に注意深い行動が出来る習慣態度を養う。
- ④ 校内災害時の実態把握に努め事後処置の徹底をはかるとともに、連絡調整の万全を期す。
- ⑤ 定期的避難訓練等の実施をおこない、非常時体制の確立をはかる。
- ⑥ 指導者は絶えず指導監督に当たり生徒の健康観察を励行するとともに、安全に対する関心を高め災害に対する応急処置方法を周知させておく。

学 校 保 健 安 全 計 画 年 間 予 定 表

学 期	月	学 校 行 事	安 全 管 理		安 全 指 導	組 織 活 動	月 間 目 標
			環 境	心 身 ・ 生 活	教科・ホームルーム 行事・生徒会部		
I	4	始業式 防災訓練	清掃分担指定（保） 部活動場所割 （生徒）（体）			保健部会	
	5	避難訓練	校内通路点検（安） 照度検査（保） 植木の防虫（事） 防災器具点検（事）			保健部会	
	6	個人面談 保護者懇談 体育祭	水質検査（保） プール清掃整備（体） 環境美化週間（保）	通学方法許可（生） 結核検診（保） 身体測定（保） 心臓検診（保） 内科検診（保） 性格検査（進） 服装点検（学） 疾病治療勧告（保）	校内生活の心構え （各部）救急措置方法 授業のうけかた （各科）部活動練習 について（生徒） 心身の状態把握（学） 救急法講習会（保） 雨天時の部活動（生徒） 基本的生活習慣（生・学） 清掃の徹底（保） 水泳時の注意（体）	P T A 保体委 校外清掃 清掃点検 保健部会	「基本的週間」 「体力づくり」 「環境美化」
	7	期末考査 終業式 インターンシ ップ	大掃除（保） 安全点検（保） 床の油ぶき（事） 夏季空気検査（保）	内科検診（保） 検尿一次（保） 夏期合宿前事故防止 検診（保） 運動器検診（保） 薬物乱用防止啓発（保）	女子防犯（生） アルバイト旅行（生・学） 休暇中の生活（生・学）	保健部会	「熱中症予防」
	8	インターンシ ップ 始業式	不良施設・設備の 修理（事） ダニ検査（保）	職員健康診断	夏季部活動（生・学） 避難訓練（保）	保健部会	「通行安全」
II	9		体育施設点検と 除草、か・ハエの 駆除 環境美化週間（保） 秋季飲料水検査（保）	歯科検診（保） 服装点検（学） 内科健康相談 歯科健康相談	基本的生活習慣（生・学） 避難訓練（保）	校外清掃 保健部会	「集団行動 の安全」 「むし歯予防・ 治療」
	10	中間考査	保健室医薬品調査 （保）	歯科検診（保） 薬物乱用防止教室（保） 内科健康相談 歯科健康相談	集団の行動（学）	清掃点検 保健部会	「食中毒予防」
	11	文化（伯太祭） 保護者懇談 期末考査（2年）	暖房器具点検（事） 照度検査（保）	歯科検診（保） 歯科健康相談	物品の管理（学・各部）	校外清掃 P T A 保体委 保健部会	「環境美化」

	12	修学旅行(2年) 期末考査 (1,3年) 終業式	大掃除(保) 安全点検(保)	服装点検(学) 性教育講演会 修学旅行前・冬期合宿 前事故防止検診(保)	アルバイト、旅行(生) 交通安全指導(生) 休暇中の生活(生・学) 冬季部活動(生)	保健部会	「AIDS啓発」
Ⅲ	1	始業式 スポーツ大会 (3年) 学年末考査 (3年)	大掃除(保) 清掃分担変更(保) 運動場砂じん措置(体)	内科健康相談 歯科健康相談	教室の換気(保・各科)	校外清掃 学校保健委 員会 保健部会	「感染予防」
	2	ス ポ ー ツ 大 会 (1,2年) 学年末考査 (1,2年)	植木の手入(事) 冬期空気検査(保) 大掃除(保) 安全点検(保)	服装点検(学)	体力づくり(体) 集団の行動(学) 基本的生活習慣(生・学)	校外清掃 保健部会	「環境美化」
	3	卒業式 終業式	教室教具の整備 (事) 清掃用具の整備	春期合宿前事故防止 検診(保)	交通安全指導(生) 休暇中の生活(生・学) 部活動練習(生徒)	清掃点検 保健部会	

(7) 学校組織の運営方針

1. 本年度の課題

- (1) 多様化する生徒に対応して教育効果を高めるため、校務内容を整理するとともに、校内組織の活性化と校務処理の適正化をはかる。校内研修の充実に努めるとともに校長のリーダーシップの下、教職員の意志統一と共通理解をいっそう深め、「自らが学び、考え、表現し、主体的に行動できる力」を育てる教育活動を展開する。
- (2) 学校運営協議会の意見や「学校教育自己診断」「授業アンケート」等を参考にし、「学校経営計画」について必要に応じて計画や方策を修正する。
- (3) 各学年・分掌・教科等および教職員個人において年度の取組みを年度末に総括し、成果と課題を明らかにし、次年度に向けて改善計画を策定する。
- (4) 本校の教育活動を充実させるとともに、外部への情報発信に努める。
- (5) 家庭との連絡を密にし、学校に対する諸要望に即応する姿勢を確立し、また、中学校および地域との連携により、本校を地域に根ざした高等学校と位置づけることで、教育効果の向上を期す。
- (6) P T A、後援会、同窓会等の教育力を最大限に活用して、生徒が充実した学校生活を送れるようにするとともに、部活動の活性化を図る。

2. 施設及び設備の管理計画

- (1) 教室及び管理室ごとに管理者を定め、使用後のあと始末と戸締りを徹底するとともに、火気取り扱いには特に注意を払い、保全と活用の調和に努める。
- (2) 定期的に電気設備・消防設備の保守点検を実施するとともに、防災とあわせて施設・設備の保全について万全を期す。
- (3) 避難訓練・防災訓練を適切に実施し、万一来に備える。

- (4) 校舎内外の清掃に留意するとともに、施設・設備等について、ものを大切にする心を養い、全教職員による定期的な安全点検を実施し、生徒の安全確保に努める。
- (5) 天災等、非常変災に対処するための施設および設備の保全については、別に学校防災計画を策定し、定められた任務役割に従って教職員が互いに協力して保全に努める。

(8) 教職員の研修方針・研修計画

1. 本年度の重点目標

学校の総合的な教育力を高めるために、教職員研修を充実させる。生徒の置かれている生活実態に学び、生徒の人権感覚を育むために、教職員の人権諸問題への認識を深めていく。生徒の学力保障の観点から、生徒のつまずき（留年や中退）の分析に努め、SC、SSW を活用した教育相談機能の充実やキャリア教育のより一層の推進を図っていく。また、経験の少ない若手教員が増える中、学校で起こりうるさまざまな問題に対処できるように研修の充実を図る。

2. 年間計画

- 4 月 新転任教職員オリエンテーション・情報モラル
- 5 月 観点別評価（各教科の進捗）
- 5 月 救急法（AED）
- 6 月 人権研修（SSW ヤングケアラー）
- 7 月 ICT（一人一台タブレット活用）
- 9 月 観点別評価（1 学期の評価について）
- 10 月 人権研修（生徒向け同和 HR について）
- 10 月 人権研修（同和問題）
- 1 月 観点別評価の内規について
- 2 月 タブレット活用と観点別評価について

2 校務分掌

(1) 校務分掌表

校長 (大崎)	教頭 (北出)	学年代表(庶務) (前田・金井・森)	式典 -----	教頭・前田・金井・森口
			P T A 主担 -----	前田・金井・森口
			P T A 専門委員会 -----	前田・金井・森口・瀬川・中井・梅木・藤原・竹田津・洞・菊川・堀部・小川
			P T A 学級委員会 -----	前田・金井・森口・瀬川・中井・梅木・藤原・竹田津・洞・菊川・堀部・小川
			広報 -----	前田・金井・森口・小川・中村友・瀬川・中井・梅木・藤原・竹田津・洞・菊川
			※ 同窓会 -----	教頭・事務長
			※ 合格者手引 -----	入試選抜委員・新1年学年主任
		教務部 (水落)	連絡調整・渉外 -----	水落
			入試 -----	水落・五嶋
		生徒指導部 (横山)	学年主担 -----	堀部・尾崎・高嶋
			教科書 -----	田中昭・金井・五嶋
		進路指導部 (小川)	時間割作成 -----	全員
			指導要録 -----	牧田・竹田津・五嶋
		保健部 (早川)	校務処理システム -----	全員
			考査 -----	全員
		生徒会指導部 (洞)	内規 -----	水落・堀部・尾崎
			学校教育計画 -----	牧田・竹田津
		人権教育推進委員会 (中村友)	学級編成 -----	堀部・尾崎
			遅刻 -----	亀田・山本絃・岡谷・阪本
		I C T 係 (成京)	身だしなみ -----	山本祐・黒田・梅木・山田
			当番・書類 -----	阪口・廣澤・中井・前田
		事務長 (津田)	生徒相談 -----	学年主任・各担任
			就職指導 -----	小川・松山・岡本・伊比・黒木
			進学指導 -----	小川・田中裕・瀬川・林堂・平林・友井・前薗・東・鍛冶
			看護指導 -----	小川・瀬川・林堂・友井・前薗・鍛冶
			郵便物・受付処理 -----	小川・吉川
			中高連携 -----	小川
			インターンシップ -----	岡本・伊比・黒木
			高大連携 -----	小川
			情報 -----	小川・林堂・岡本・黒木
			GS・キャリアパスポート -----	小川・田中裕・友井・伊比・前薗・鍛冶
			生徒委員会活動 -----	藤原・中村友
			日本スポーツ振興センター -----	津村
			環境・美化 -----	川北・木戸・斉藤
			行事・安全 -----	藤原・菊川
			健康診断 -----	津村
			総務 -----	早川
			体育祭 -----	北浦・中村愛・洞
			伯太祭(文化祭) -----	洞・畑谷
			部活動・役員選挙 -----	福壽・山下・伊藤
			生徒会役員指導 -----	田ノ室・松原・洞
			会計 -----	清水
			和泉支援学校交流 -----	松原
			生徒図書委員会 -----	田ノ室
			図書館運営・図書搬送 -----	田ノ室・松原
			-----	教頭・前田・金井・森口・瀬川・尾崎・中村愛・山下・成京・岡本・阪本 横山(生徒指導)・中村友(SC・SSW・支援担当)
			ホームページ・ブログ -----	全員
			メールマガジン -----	全員
			入試 -----	成京・小坂家
			校務処理システム -----	全員
			アカウント管理 -----	全員
			機器管理 -----	全員
			Google Workspace Education -----	全員
			職員会議 -----	全員
			図書館システム管理 -----	全員
			生徒の諸証明 -----	西尾
			職員服務 -----	八木
			職員の諸給与 -----	八木
			被服 -----	西尾
			共済・互助 -----	八木
			生徒の異動・在籍 -----	津田
			授業料・検定料 -----	津田
			旅費 -----	八木
			文書・郵便 -----	八木
			備品 -----	西尾
			消耗品費 -----	西尾
			校舎修繕・工事費等 -----	八木
			私費会計 -----	津田
			校舎等の維持管理 -----	津田
			就学支援金、奨学給付金 -----	八木・西尾・津田

・運営委員会

校長、教頭、事務長、首席、学年代表(3)、各部代表、
人教委代表、I C T 係主担

(2) 学年主任、ホームルーム担任一覧表

学年 代表	1				2				3			
	森口				金井				前田			
学級	生徒数			担任	生徒数			担任	生徒数			担任
	男	女	計		男	女	計		男	女	計	
1	14	21	35	田中昭	15	18	33	梅 木	14	23	37	田中裕
2	15	20	35	小坂家	16	18	34	友 井	14	23	37	岡 谷
3	15	20	35	堀 部	15	19	34	尾 崎	14	23	37	高 嶋
4	14	20	34	中村愛	16	18	34	北 浦	13	24	37	瀬 川
5	12	22	34	山本祐	15	18	33	福 壽	13	23	36	山 田
6	12	22	34	前 蘭	16	18	34	黒 田	14	23	37	畑 谷
7	12	22	34	黒 木								
計	94	147	241		93	109	202		82	139	221	

生徒総数 男子 269 人 女子 395 人 計 664 人

(3) 生徒会活動、部活動担当者（顧問）一覧表

生徒会活動担当者一覧表

活動名	事業名	担当者
生徒会活動	体育祭	洞・北浦
	伯太祭（文化祭）	洞・畑谷
	部活動・役員選挙	福壽・山下・伊藤
	生徒会役員指導	田ノ室・松原・洞
	会計	清水
	和泉支援学校交流	松原
	ブルーミントン交流	山下

部活動担当者（顧問）一覧表

部活動・同好会		部員数（2022(R4)年4月30日現在）								顧問教員	
		1 年		2 年		3 年		合計			
		女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子		
運 動 系	剣道	0	0	1	1	0	0	1	1	梅木・清水・伊比・津村	
	硬式野球	0	0	0	2	2	6	2	8	畑谷・山田・小川・横山	
	サッカー	0	2	1	3	2	4	3	9	田中昭・金井・斎藤・友井・伊藤・山本絃	
	柔道	0	0	0	1	0	1	0	2	黒田・水落・藤原・吉川	
	女子ソフトボール	2	0	1	0	4	0	7	0	中村友・小川・梅木・山下	
	卓球	0	0	0	0	0	0	0	0	廣澤・田ノ室・松原・清水・洞	
	硬式テニス	0	0	2	0	0	4	2	4	中村愛・中井・秋山・阪本・牧田	
	男子バスケットボール	3	2	0	2	0	2	3	6	堀部・松山・東・早川	
	女子バスケットボール	1	0	3	0	0	0	3	0	北浦・黒田・田ノ室・松原	
	バドミントン	1	2	3	0	0	0	4	2	森口・神谷・竹田津・菊川	
	バレーボール	10	0	0	9	0	2	10	11	山本祐・岡本・瀬川・平林・川北	
	陸上競技	1	0	2	1	2	3	5	4	岡谷・木戸・阪口・鍛冶	
(小計)		18	6	13	19	10	22	41	47		
文 化 系	演劇	0	1	0	1	4	0	4	2	黒木・横山・牧田	
	ガラス工芸	2	0	1	0	2	0	5	0	前田・清水・中井・伊藤	
	ギターアンサンブル	2	0	0	0	0	0	2	0	洞	
	軽音楽	7	12	4	0	4	1	15	13	小坂家・岡本・東・山本絃・山下	
	コンピューター	0	0	1	3	2	0	3	3	成京・早川・水落・秋山	
	茶道	0	0	0	0	1	0	1	0	田中裕・伊比・木戸	
	写真	3	0	0	0	5	1	8	1	林堂・竹田津・鍛冶	
	書道	0	0	2	0	0	0	2	0	福壽・齋藤・津村	
	吹奏楽	4	1	0	0	0	1	4	2	洞・友井	
	ダンス	2	1	6	0	6	0	14	1	高嶋・瀬川・阪口・阪本	
	図書	0	0	0	0	0	1	0	1	五嶋・瀬川・川北・松原	
	美術	0	0	1	0	4	0	5	0	梅木・山田・平林・菊川	
	文芸	2	0	2	0	4	0	8	0	亀田・神谷・吉川・田ノ室	
	放送	1	0	0	1	1	2	2	3	尾崎・松山・金井	
	メイキング	0	1	0	0	0	0	0	1	前園	
	(小計)		23	16	17	5	33	6	73	27	
			23	16	30	24	43	28	114	74	
合計		63		54		71		188			

令和4年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表											
4月				5月				6月			
日	曜日	行 事		日	曜日	行 事		日	曜日	行 事	
1	金	辞令 教科会 職員室移動 原留生引継 運営委 職会 新転任オリエンテーション① 学年会議		1	日			1	水	成績入力	
2	土			2	月			2	木	4限体育祭HR・PM体育祭準備	
3	日			3	火	憲法記念日		3	金	体育祭	
4	月	AM新入生心臓検診 身体測定 新転任オリエンテーション② 分掌会議		4	水	みどりの日		4	土		
5	火	運営委 職会 系列会議		5	木	こどもの日		5	日		
6	水	情報モラル講習会(○教員)		6	金	運営委		6	月	体育祭予備①	
7	木			7	土	50×4 PTA総会・学級委員会・授業公開・進路保護者説明会・模試		7	火	体育祭予備②	
8	金	始業式・入学式 進路アンケート		8	日			8	水		
9	土			9	月	代休		9	木	運営委 創立記念日 進路資料頒布会(懇談期間中)	
10	日			10	火	内科欠席者検診		10	金		
11	月	○12限オリエンテーション クラブ紹介(PM)		11	水	教職員研修(進路)		11	土	40分×4 学校協議会 PTA専門委員会・役員実行委員会②	
12	火	○12限オリエンテーション PM内科検診+○身体測定 GoogleClassroom設定・登録作業		12	木	職会 体育祭エントリーHR 検尿2次①		12	日		
13	水			13	金			13	月	代休	
14	木	検尿1次① クラブ体験① (PM)		14	土			14	火	運動器検診	
15	金	検尿1次② クラブ体験② (PM)		15	日			15	水		
16	土	PTA新旧役員 実行委員会①		16	月			16	木	職会 ○歯科検診 ○6限→金2 ○学校幹旋就職誓約書べ切	
17	日			17	火	○日本学生支援機構予約説明会1		17	金	○学校幹旋就職説明会(夏の日程) 運動部校外清掃 漢検 ○個人写真撮影	
18	月			18	水	○日本学生支援機構予約説明会2 企業訪問(～25・水) 遅刻指導強化日		18	土		
19	火	○生徒情報交換会		19	木	○午前授業 食物アレルギー対策委員会		19	日		
20	水	○生徒情報交換会		20	金	中間1 教職員研修(学習指導)		20	月	○学校幹旋就職自己PR指導1	
21	木	○進路説明会・面接練習1(PM) ○歯科検診・聴力検査		21	土			21	火	○学校幹旋就職自己PR指導2	
22	金	○基礎力診断テスト(AM) ○生徒情報交換会		22	日			22	水	○50分×4学校幹旋就職面接練習2(PM)	
23	土			23	月	中間2 運営委		23	木	○進路説明会5・6限 ○6限→金1 教職員研修(教育相談)	
24	日			24	火	中間3		24	金	同窓会総会	
25	月			25	水	中間4 部活動生救急法講習会		25	土		
26	火			26	木	職会 ○歯科検診 聴力検査 ○交通安全講話		26	日		
27	水	食物アレルギー対策委員会		27	金	40×7 避難訓練 同窓会幹事会 検尿2次② 英検		27	月		
28	木	○校外学習		28	土			28	火		
29	金	昭和の日		29	日			29	水	遅刻指導強化日	
30	土			30	月	PM心臓検診2次(対象者抽出)		30	木	○午前授業	
				31	火						
小 計	学年 (1年 2年 3年)			小 計	学年 (1年 2年 3年)			小 計	学年 (1年 2年 3年)		
	教科・科目の授業日 (13 13 13)				教科・科目の授業日 (19 19 19)				教科・科目の授業日 (21 21 21)		
	学 校 行 事 日 (3 2 2)				学 校 行 事 日 (0 0 0)				学 校 行 事 日 (1 1 1)		
	休 業 日 (14 15 15)				休 業 日 (12 12 12)				休 業 日 (8 8 8)		

令和4年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表

7月			8月			9月		
日	曜日	行事	日	曜日	行事	日	曜日	行事
1	金	期末1 ㊟6限授業	1	月	夏期特別講習①	1	木	㊟学校幹旋就職面接練習5-1 (PM)
2	土		2	火	夏期特別講習②	2	金	㊟学校幹旋就職面接練習5-2 (PM)
3	日		3	水	夏期特別講習③	3	土	PTA役員・実行委員会③
4	月	期末2	4	木		4	日	
5	火	期末3	5	金		5	月	㊟進学指定校推薦校内選考1
6	水	期末4	6	土		6	火	
7	木	期末5 ㊟求人情報交換会1(教)	7	日		7	水	
8	金	期末6 夏合宿前検診・事故防止検診 ㊟学校幹旋就職求人一覧配布1	8	月		8	木	
9	土	数検	9	火		9	金	㊟進学指定校推薦出願説明会1
10	日		10	水		10	土	
11	月	答案返却 運営委 クラブウィーク(～15日まで)	11	木	山の日	11	日	
12	火	答案返却 ㊟学校幹旋就職求人情報交換会2	12	金		12	月	運営委
13	水	㊟学校幹旋就職求人一覧配布2 教科会議	13	土		13	火	修学旅行前検診 遅刻指導強化日
14	木	㊟情報モラル講習会4限 歯科健康相談 成績入力 職会 教職員研修(ICT)	14	日		14	水	食物アレルギー対策委員会
15	金	㊟学校幹旋就職応募前職場見学申込 ㊟デートDV講演会3・4限 成績会議	15	月		15	木	職会 伯太祭一次企画書提出
16	土		16	火		16	金	
17	日		17	水	㊟学校幹旋就職求人票閲覧日	17	土	
18	月	海の日	18	木	㊟学校幹旋就職予備調査用紙ㄱ切	18	日	
19	火	㊟進学説明会	19	金	㊟学校幹旋就職本調査用紙提出 運動部拡大校外清掃	19	月	敬老の日
20	水	2限+終業式+大掃除	20	土	8地区公立高校説明会	20	火	㊟進学指定校推薦ㄱ切2 内科健康相談
21	木	㊟学校幹旋就職進路大テスト・写真撮影	21	日		21	水	㊟進学指定校推薦校内選考2
22	金	転入考査受付①	22	月	㊟学校幹旋就職校内選考1	22	木	㊟進学指定校推薦出願説明会2 教職員研修
23	土		23	火	2・3年授業開始 運営委 職会	23	金	秋分の日
24	日	インテックス学校説明会	24	水	始業式+2限 伯太祭全校集会 ㊟学校幹旋就職 本調査用紙ㄱ切2/校内選考2	24	土	
25	月	転入考査受付② ㊟学校幹旋就職応募前職場見学説明会	25	木	㊟学校幹旋就職面接練習3-1(PM) 歯科健康相談	25	日	
26	火	㊟就職セミナー	26	金	㊟学校幹旋就職面接練習3-2(PM) 校内模試(PM) オープンスクール①(PM)	26	月	
27	水	転入考査	27	土		27	火	㊟進学面接練習1-1
28	木		28	日		28	水	㊟進学面接練習1-2
29	金		29	月	㊟学校幹旋就職試験説明会 ㊟進学指定校推薦説明会	29	木	㊟性教育講演5・6限 歯科健康相談
30	土		30	火	職員検診(14:00～16:30) 内科健康相談	30	金	英検
31	日		31	水	㊟学校幹旋就職面接練習4(PM)			
小計	学年 (1年 2年 3年)		小計	学年 (1年 2年 3年)		小計	学年 (1年 2年 3年)	
	教科・科目の授業日 (13 13 13)			教科・科目の授業日 (6 7 7)			教科・科目の授業日 (20 20 20)	
	学校行事日 (0 0 0)			学校行事日 (0 0 0)			学校行事日 (0 0 0)	
	休業日 (18 18 18)			休業日 (25 24 24)			休業日 (10 10 10)	

令和4年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表									
10月			11月			12月			
日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	
1	土		1	火	伯太祭クラスリハーサル①	1	木	遅刻指導強化日 教職員研修(授業公開後)	授業内 考査
2	日	◎修学旅行	2	水	伯太祭クラスリハーサル②	2	金		
3	月	◎修学旅行	3	木	文化の日	3	土		
4	火	◎修学旅行	4	金	伯太祭クラブリハーサル	4	日		
5	水	◎代休	5	土	オープンスクール② 学校協議会	5	月	◎◎午前授業	
6	木	運営委	6	日		6	火	◎午前授業 期末1	
7	金	◎進学面接練習2	7	月	伯太祭職員会議	7	水	期末2	
8	土		8	火	事故防止検診(冬合宿)	8	木	期末3 教職員研修(人権)	
9	日		9	水		9	金	期末4	
10	月	スポーツの日	10	木	4限 伯太祭HR体育館設営 PM伯太祭準備	10	土		
11	火	内科健康相談	11	金	伯太祭①	11	日		
12	水		12	土	伯太祭②	12	月	期末5	
13	木	◎防災教育HR 歯科健康相談 職会	13	日		13	火	期末6 ◎学校幹旋就職内定者説明会1	
14	金	遅刻指導強化日	14	月	代休	14	水	答案返却	
15	土		15	火		15	木	答案返却 歯科健康相談	
16	日		16	水		16	金	教科会 転入考査受付①	
17	月	◎◎◎午前授業	17	木	歯科健康相談 運営委	17	土		
18	火	中間1	18	金	文化部校外清掃	18	日		
19	水	中間2	19	土		19	月	成績会議 運営委 転入考査受付②	成績不振者 懇談
20	木	中間3 教職員研修	20	日		20	火	内科健康相談	
21	金	中間4	21	月	遅刻指導強化日	21	水		
22	土		22	火		22	木	職会 生徒会役員選挙	
23	日		23	水	勤労感謝の日	23	金	2限+終業式+大掃除	
24	月		24	木	◎進路説明会 同窓会幹事会 ◎性教育講演5・6限 職会	24	土		
25	火		25	金	PTA専門委員会・学級委員会	25	日		
26	水		26	土		26	月	転入考査	
27	木		27	日		27	火		
28	金	成績入力 伯太祭有志リハーサル	28	月		28	水		
29	土		29	火		29	木		学校休業 日
30	日		30	水		30	金		
31	月					31	土		
小 計	学年 (1年 2年 3年)		小 計	学年 (1年 2年 3年)		小 計	学年 (1年 2年 3年)		
	教科・科目の授業日 (20 17 20)			教科・科目の授業日 (18 18 18)			教科・科目の授業日 (17 17 17)		
	学 校 行 事 日 (0 3 0)			学 校 行 事 日 (2 2 2)			学 校 行 事 日 (0 0 0)		
	休 業 日 (11 11 11)			休 業 日 (10 10 10)			休 業 日 (14 14 14)		

令和4年度 大阪府立伯太高等学校 行事予定表

1月			2月			3月		
日	曜日	行 事	日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	日	元日	1	水	㊟学年末5	1	水	
2	月	振替休日	2	木	㊟学年末6 歯科健康相談 職会 ㊟学校幹旋就職内定者説明会2	2	木	㊟㊟答案返却 歯科健康相談
3	火		3	金		3	金	教科会議
4	水		4	土		4	土	
5	木		5	日		5	日	
6	金	運営委 職会	6	月	㊟答案返却日 教科会議	6	月	運営委
7	土		7	火	㊟成績提出16:00	7	火	
8	日		8	水	㊟学年成績会議	8	水	㊟㊟成績会議 進級判定会議
9	月	成人の日	9	木	㊟卒業判定会議	9	木	午前㊟㊟欠単位等申し渡し 午後学検会場準備・問題送達
10	火	始業式+2限	10	金	㊟欠単位等申し渡し 漢検	10	金	入学者選抜試験
11	水		11	土	建国記念の日	11	土	
12	木		12	日		12	日	
13	金		13	月		13	月	採点
14	土	PTA役員・実行委員会	14	火	事故防止検診(春合宿)	14	火	採点
15	日		15	水		15	水	終業式、教科書販売
16	月		16	木	遅刻指導強化日	16	木	採点予備
17	火	遅刻指導強化日	17	金	㊟追認判定	17	金	合格判定会議 職会
18	水		18	土		18	土	
19	木	課題研究全体発表	19	日		19	日	
20	金	学校保健委員会 英検	20	月	㊟学年末1 運営委	20	月	合格発表 合格者説明会 新入生健康相談
21	土	AMオープンスクール③ 模試	21	火	㊟㊟学年末2	21	火	春分の日
22	日		22	水	㊟㊟学年末3 職会・教職員研修	22	水	転入考査受付 中学校訪問
23	月		23	木	天皇誕生日	23	木	二次選抜出願・検査 転入考査 (中学校訪問)
24	火		24	金	㊟㊟学年末4	24	金	
25	水	㊟午前授業	25	土	学校協議会	25	土	
26	木	㊟学年末1 ㊟適性検査 教職員研修 ㊟基礎力診断テスト(AM)PM授業	26	日		26	日	
27	金	㊟学年末2	27	月	㊟㊟学年末5+大掃除 卒業式予行	27	月	二次選抜合格発表
28	土		28	火	卒業式	28	火	
29	日					29	水	
30	月	㊟学年末3 運営委				30	木	
31	火	㊟学年末4			R4年度年間授業日数(予定)(182 180 167)	31	金	
小 計	学年 (1年 2年 3年)		小 計	学年 (1年 2年 3年)		小 計	学年 (1年 2年 3年)	
	教科・科目の授業日 (16 16 16)			教科・科目の授業日 (18 18 3)			教科・科目の授業日 (1 1 0)	
	学 校 行 事 日 (0 0 0)			学 校 行 事 日 (1 1 2)			学 校 行 事 日 (1 1 0)	
	休 業 日 (15 15 15)			休 業 日 (9 9 23)			休 業 日 (29 29 31)	

令和 4 年度 大阪府立 伯太 高等学校
全日制の課程 総合学科 教育課程実施計画

1 総表(教科・科目等履修単位数)

教科			入学年度	4				備 考
			学級数	6				
			年次	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	計	
学校必修科目	国語	現代の国語	2			9		
		言語文化	2					
		文学国語		3	2			
	地理歴史	地理総合	2			4～6	◆から1科目選択	
		歴史総合		2				
		日本史探究			2◆			
	公民	公共	2			2		
	数学	数学Ⅰ	4			6		
		数学A		2				
	理科	科学と人間生活		2		4～6	◆から1科目選択	
		化学基礎	2					
		地学基礎			2◆			
	保健体育	体育	3	2	2	9		
		保健	1	1				
	芸術	音楽Ⅰ	2●			2	●から1科目選択	
		美術Ⅰ	2●					
		書道Ⅰ	2●					
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3			8		
		英語コミュニケーションⅡ		3	2			
	家庭	家庭基礎	2			2		
	情報	情報Ⅰ	2			2		
	小計		27	15	8	50		
原則履修科目	学 総合	(学)産業社会と人間	2			4	グローバルスタディーズ(GSⅠ)	
		(学)課題研究			2			
	小計		2		2	4		
学校必修科目合計		29	15	10	54			
総合学科選択科目合計		0～1	12～13	16	28～30	(集中講座を含む)		
教科・科目の計		29～30	27～28	26	82～84			
総合的な探究の時間		0	2	3	5	グローバルスタディーズ(GSⅡ・Ⅲ)		
特別活動	ホームルーム活動	1	1	1	3			
総計		30～31	30～31	30	90～92	(集中講座を含む)		

2 系列別表

		総合学科選択科目																		
系 列	総合選択科目					自由選択科目														
	教 科	科 目	単 位	備 考	履修単位数計	教 科	科 目	単 位	備 考											
自然 科学	公 民	学時事問題	2	2年3年	0~28	公 民	倫理 学公民特殊講義	2 2	3年 3年											
	数 学	数学Ⅱ	4	2年		数 学	学実践数学Ⅰ	2	2年											
		数学B	2	2年			学発展数学ⅠA	2	3年											
		学数学Ⅱ演習	2	3年			理 科	化学	4	2・3年継続										
		学数学B演習	2	3年				芸 術	音楽Ⅱ	2	2年Ⅰ履修者									
	理 科	物理基礎	2	2年		音楽Ⅲ			2	3年Ⅱ履修者										
		物理	2	3年		美術Ⅱ			2	2年Ⅰ履修者										
		学理科レポート入門	2	2年		美術Ⅲ	2		3年Ⅱ履修者											
		学環境科学	2	3年		書道Ⅱ	2	2年Ⅰ履修者												
	専門家庭	栄養	2	2年		外国語	学実用英語基礎	2	2年3年											
食文化		2	3年	学実用英語応用	2		3年													
専門情報	学プレゼンテーション基礎	2	2年	専門家庭	学生活技術	2	2年3年													
	学マルチメディア	2	3年		専門体育	学フィットネススタディー	2	3年												
生活 と 経済	国 語	学国語の基礎知識	2	2年3年	0~22	学総合	学インターンシップ	1・2	1年2年(就) 集中講座											
	地理歴史	地理探究	2	2年																
	公 民	政治・経済	2	3年							芸 術	学キーボード演習Ⅰ	2	2年3年						
	芸 術	学キーボード演習Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者								学キーボード演習Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者						
		学造形表現	2	2年								学色彩	2	3年						
		学色彩	2	3年								学実用書Ⅰ	2	2年						
		学実用書Ⅰ	2	2年								学実用書Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者						
		学実用書Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者								専門家庭	保育基礎	2	2年3年					
		専門家庭	保育基礎	2							2年3年	専門体育	学レクリエーション	2	3年					
	健康 と 福祉	理 科	生物基礎	2							2年	0~22								
外国語		学英語演習Ⅰ	2	2年	専門家庭						食品衛生						2	2年		
		学英語演習Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者		専門福祉	社会福祉基礎	2	2年											
専門家庭		食品衛生	2	2年	専門福祉	介護福祉基礎	2	3年												
		学保健体育理論Ⅰ	2	2年		専門体育	学保健体育理論Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者											
専門英語		学保健体育理論Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者	専門英語		総合英語Ⅰ	2	2年											
		総合英語Ⅰ	2	2年		総合英語Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者												
IT ビ ジ ネ ス		公 民	学教養の社会	2	2年	0~18														
		外国語	学News in English	2	2年						専門家庭						学消費者経済学	2	2年3年	
			学ビジネス英語	2	3年												専門情報	学ITビジネス基礎	2	2年
	専門情報	学ITビジネス基礎	2	2年	学ITビジネス応用						2	3年 基礎からの継続履修								
		学ITビジネス応用	2	3年 基礎からの継続履修	学表計算・文書作成基礎						2	2年3年								
		学表計算・文書作成基礎	2	2年3年	学表計算・文書作成応用						2	3年 基礎からの継続履修								
		学表計算・文書作成応用	2	3年 基礎からの継続履修	学プログラミング						2	3年								
		学プログラミング	2	3年	こ と ば と 文 化						0~32									
		国 語	論理国語	4											2・3年継続	地理歴史	世界史探究	2	3年	
	古典探究		4	2・3年継続											学日本史特殊講義		2	3年		
地理歴史	世界史探究	2	3年	公 民		学多文化理解	2	3年												
	学日本史特殊講義	2	3年			数 学	学総合数学	2	3年											
公 民	学多文化理解	2	3年	理 科		学理科ニュース	2	2年												
数 学	学総合数学	2	3年			学デッサン演習	2	2年3年												
こ と ば と 文 化	理 科	学理科ニュース	2	2年		0~32														
	芸 術	学デッサン演習	2	2年3年											外国語	論理・表現Ⅰ	2	2年		
	外国語	論理・表現Ⅰ	2	2年												論理・表現Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者		
		論理・表現Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者	学韓国・朝鮮語Ⅰ						2	2年								
		学韓国・朝鮮語Ⅰ	2	2年	学韓国・朝鮮語Ⅱ						2	3年Ⅰ履修者								
		学韓国・朝鮮語Ⅱ	2	3年Ⅰ履修者	専門家庭						服飾手芸	2	2年3年							
	専門家庭	服飾手芸	2	2年3年	専門体育						学アスリート	2	2年							
											履修単位数計		0~28							
					総合学科選択科目 履修単位数計		28~30	但し、集中講座取得者以外は、 28単位												

令和 4 年度 大阪府立 伯太 高等学校
全日制の課程 総合学科 教育課程実施計画

1 総表(教科・科目等履修単位数)

教科		入学年度	3				備 考	
		学級数	6					
		年次	I	Ⅱ	Ⅲ	計		
学校必修科目	国語	国語総合	5			10	○から1科目選択	
		現代文B		3	2			
	地理歴史	世界史A			2	4		
		日本史A		2○				
		地理A		2○				
	公民	現代社会	2			2		
	数学	数学Ⅰ	4			6		
		数学A		2				
	理科	科学と人間生活		2		4		
		化学基礎	2					
	保健体育	体育	3	2	2	9		●から1科目選択
		保健	1	1				
	芸術	音楽Ⅰ	2●			2		
		美術Ⅰ	2●					
		書道Ⅰ	2●					
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4			9		
		コミュニケーション英語Ⅱ		3	2			
	家庭	家庭基礎	2			2		
	情報	社会と情報	2			2		
	小計		27	15	8	50		
原則履修科目	学 総合	学産業社会と人間	2			2	グローバルスタディ(ⅠGSⅠ)	
	小計		2			2		
学校必修科目合計			29	15	8	52		
総合学科選択科目合計			0～1	12～13	20～21	32～35		
教科・科目の計			29～30	27～28	28～29	84～87	(集中講座を含む)	
総合的な探究の時間			0	2	1	3	グローバルスタディ(ⅠGSⅡ・Ⅲ)	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3		
総計			30～31	30～31	30～31	90～93	(集中講座を含む)	

2 系列別表

系 列	総合学科選択科目									
	総合選択科目					自由選択科目				
	教 科	科 目	単 位	備 考	履修単位数計	教 科	科 目	単 位	備 考	
IT・サイエンス	理 科	学理科レポート入門	2	2年	0～22	国 語	学古典セミナー	2	3年	
		学スペースアドベンチャー	2	2年			学国語の表現	2	2年3年	
		学理科レポート実践	2	3年※		地理歴史	日本史B	4	2・3年継続	
	[専門] 情 報	学ITビジネス基礎	2	2年			地理B	4	2・3年継続	
		学プレゼンテーション基礎	2	2年			学日本史演習	2	3年	
		学表計算・文書作成基礎	2	2年3年			学地理演習	2	3年	
		学表計算・文書作成応用	2	3年		公 民	倫理	2	3年	
		学プログラミング	2	3年			学教養の社会	2	2年	
学ITビジネス	2	3年	学公民演習	2	2年					
学マルチメディア	2	3年	数 学	数学Ⅱ	4	2年				
学情報演習	2	3年※		数学Ⅲ	4	3年				
ビジネス・観光	国 語	学古典の世界		2	2年	数学B	2	2年		
		学古典探訪		2	3年	学実践数学Ⅰ	2	2年		
	地理歴史	学世界史演習		2	3年	学活用数学	2	2年		
		学社会科課題研究		2	3年※	学実践数学ⅠA	2	3年		
	公 民	政治・経済		2	3年	学発展数学ⅠA	2	3年		
		学時事問題		2	2年3年	学発展数学Ⅱ	2	3年		
商 業	学多文化理解	2	3年	学発展数学B	2	3年				
	ビジネス基礎	2	2年	学活用数学セミナー	2	3年				
	マーケティング	2	3年	学人物で学ぶ数学史	2	3年				
簿記	2	3年	理 科	物理基礎	2	2年				
☒観光	学観光Ⅰ	2		2年	物理	2	3年 物理基礎履修者			
	学観光Ⅱ	2		3年※	化学	4	2・3年継続			
ライフスタイル	芸 術	音楽・美術・書道Ⅱ		2	2年Ⅰ科目履修者	生物基礎	2	2年		
		音楽・美術・書道Ⅲ		2	3年Ⅱ科目履修者	生物	2	3年 生物基礎履修者		
		学キーボード演習Ⅰ		2	2年3年	地学基礎	2	2年		
		学キーボード演習Ⅱ		2	3年	学環境科学	2	2年		
		学楽典		2	3年※	学生活の理科	2	2年		
		学造形表現	2	2年	学人体のふしぎ	2	2年			
		学美術表現	2	3年※	学実用理科	2	2年			
		学実用書Ⅰ	2	2年3年	学理科ニュース	2	2年3年			
		学実用書Ⅱ	2	3年	学人体生理学	2	3年			
		学書作品制作論演習	2	3年※	学生命科学	2	3年			
	学色彩	2	3年	芸 術	学デッサン演習	2	2年3年			
	[専門] 家 庭	子どもの発達と保育	2		2年3年	外国語	英語会話	2	2年3年	
		服飾手芸	2	3年※	学News in English		2	2年		
		食文化	2	3年	学実用英語基礎		2	2年3年		
		学食品の安全と衛生	2	2年	学実用英語応用		2	3年		
		学栄養理論	2	2年3年	[共通] 家 庭	学生活技術	2	2年		
学消費者経済学	2	3年	体 育	学フィットネススタディー		2	3年			
福 祉	社会福祉基礎	2		2年	英 語	英語表現	2	3年		
	介護福祉基礎	2	3年	☒総合		学インターンシップ	1・2	1年2年(就) 集中講座		
体 育	学社会福祉演習	2	3年※			学就職講座	1	3年 集中講座		
	学レクリエーション	2	3年			スポーツ	学国際文化	学韓国・朝鮮語Ⅰ	2	2年
体 育	学ダンス	2	3年※	学韓国・朝鮮語Ⅱ	2			3年		
	学保健体育理論Ⅰ	2	2年	文理探究						
	体 育	学保健体育理論Ⅱ	2							
学アスリート		2	2年							
文理探究	国 語	学ライフロングスポーツ	2		3年	履修単位数計	0～33			
		学文学概論	2		2年	総合学科選択科目 履修単位数計	32～35	但し、集中講座取得者以外は、 32単位		
		学国語演習	2		2年					
		学文学研究	2		3年※					
	学国語探究	2	3年							
	数 学	学数学探究	2		2年					
		学数学課題研究	2		3年※					
	理 科	学化学セミナー	2		3年					
		学生物セミナー	2		3年					
	外国語	学英語演習	2		2年					
		学英語探究	2		3年					
		学Advanced EnglishⅠ	2		2年					
		学Advanced EnglishⅡ	2		3年					
		学イングリッシュワークショップ	2	3年※						

※は課題研究科目で必ず1科目履修する。

令和 4 年度 大阪府立 伯太 高等学校
全日制の課程 総合学科 教育課程実施計画

1 総表(教科・科目等履修単位数)

教科		入学年度	2				備 考	
		学級数	6					
		年次	I	II	Ⅲ	計		
学校必修科目	国語	国語総合	5			10	○から1科目選択	
		現代文B		3	2			
	地理歴史	世界史A			2	4		
		日本史A		2○				
		地理A		2○				
	公民	現代社会	2			2		
	数学	数学Ⅰ	4			6		
		数学A		2				
	理科	科学と人間生活		2		4		
		化学基礎	2					
	保健体育	体育	3	2	2	9		●から1科目選択
		保健	1	1				
	芸術	音楽Ⅰ	2●			2		
		美術Ⅰ	2●					
		書道Ⅰ	2●					
	外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4			9		
		コミュニケーション英語Ⅱ		3	2			
	家庭	家庭基礎	2			2		
	情報	社会と情報	2			2		
	小計		27	15	8	50		
原則履修科目	学 総合	学産業社会と人間	2			2	グローバルスタディ(Ⅰ)	
	小計		2			2		
学校必修科目合計		29	15	8	52			
総合学科選択科目合計		0～1	12～13	20～21	32～35			
教科・科目の計		29～30	27～28	28～29	84～87	(集中講座を含む)		
総合的な探究の時間		0	2	1	3	グローバルスタディ(Ⅱ・Ⅲ)		
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	3		
総計		30～31	30～31	30～31	90～93	(集中講座を含む)		

2 系列別表

系 列	総合学科選択科目															
	総合選択科目					自由選択科目										
	教 科	科 目	単 位	備 考	履修単位数計	教 科	科 目	単 位	備 考							
Ⅰ T・ サイ エ ン ス	理 科	学理科レポート入門	2	2年	0～22	国 語	学古典セミナー	2	3年							
		学スペースアドベンチャー	2	2年			学国語の表現	2	2年3年							
		学理科レポート実践	2	3年※		地 理 史	日本史B	4	2・3年継続							
	[専門] 情 報	情報産業と社会	2	2年			地理B	4	2・3年継続							
		情報の表現と管理	2	2年			学日本史演習	2	3年							
		学表計算・文書作成基礎	2	2年3年			学地理演習	2	3年							
		学表計算・文書作成応用	2	3年		公 民	倫理	2	3年							
		学プログラミング	2	3年			学教養の社会	2	2年							
		学ITビジネス	2	3年			学公民演習	2	2年							
		学マルチメディア	2	3年		数 学	数学Ⅱ	4	2年							
学情報演習	2	3年※	数学Ⅲ	4	3年											
ビ ジ ネ ス ・ 観 光	国 語	学古典の世界	2	2年	数学B		2	2年								
		学古典探訪	2	3年	学実践数学Ⅰ		2	2年								
	地 理 史	学世界史演習	2	3年	学活用数学		2	2年								
		学社会科課題研究	2	3年※	学実践数学ⅠA		2	3年								
	公 民	政治・経済	2	3年	学発展数学ⅠA		2	3年								
		学時事問題	2	2年3年	学発展数学Ⅱ		2	3年								
		学多文化理解	2	3年	学発展数学B		2	3年								
	商 業	ビジネス基礎	2	2年	学活用数学セミナー		2	3年								
		マーケティング	2	3年	学人物で学ぶ数学史	2	3年									
		簿記	2	3年	理 科	物理基礎	2	2年								
学 観 光	学観光Ⅰ	2	2年	物理		2	3年 物理基礎履修者									
	学観光Ⅱ	2	3年※	化学		4	2・3年継続									
ラ イ フ ス タ イ ル	芸 術	音楽・美術・書道Ⅱ	2	2年Ⅰ科目履修者		生物基礎	2	2年								
		音楽・美術・書道Ⅲ	2	3年Ⅱ科目履修者		生物	2	3年 生物基礎履修者								
		学キーボード演習Ⅰ	2	2年3年		地学基礎	2	2年								
		学キーボード演習Ⅱ	2	3年		学環境科学	2	2年								
		学楽典	2	3年※		学生活の理科	2	2年								
		学基礎造形	2	2年		学人体のふしぎ	2	2年								
		学表現の研究	2	3年※		学実用理科	2	2年								
		学実用書	2	2年3年	学理科ニュース	2	2年3年									
		学デザイン書	2	3年※	学人体生理学	2	3年									
		学色彩	2	3年	学生命科学	2	3年									
[専門] 家 庭	子どもの発達と保育	2	2年3年	芸 術	学毎日デザイン	2	2年3年									
	服飾手芸	2	3年※		学ペン字	2	3年									
	学食文化	2	3年	外 国 語	英語会話	2	2年3年									
	学食品の安全と衛生	2	2年		学News In English	2	2年									
	学栄養理論	2	2年3年		学実用英語基礎	2	2年3年									
	学消費者経済学	2	3年		学実用英語応用	2	2年3年									
	福 祉	社会福祉基礎	2	2年	[共通] 家 庭	学生活技術	2	2年								
		介護福祉基礎	2	3年		体 育	学フィットネススタディー	2	3年							
		学社会福祉演習	2	3年※	ス ポ ー ツ		英 語	英語表現	2	3年						
	体 育	学レクリエーション	2	3年		学 総 合		学インターンシップ	1・2	1年2年(就) 集中講座						
学ダンス		2	3年※	学就職講座			1	3年 集中講座								
文 理 探 究	国 語	学文学概論	2	2年		学 国 際 文 化	学韓国・朝鮮語Ⅰ	2	2年							
		学国語演習	2	2年			学韓国・朝鮮語Ⅱ	2	3年							
		学文学研究	2	3年※												
		学国語探究	2	3年						履修単位数計	0～33	総合学科選択科目 履修単位数計	32～35	但し、集中講座取得者以外は、 32単位		
	数 学	学数学探究	2	2年							理 科		学化学セミナー		2	3年
		学数学課題研究	2	3年※									学生物セミナー		2	3年
	外 国 語	学英語演習	2	2年												
		学英語探究	2	3年												
	学Advanced EnglishⅠ	2	2年													
	学Advanced EnglishⅡ	2	3年													
学イングリッシュワークショップ	2	3年※														

※は課題研究科目で必ず1科目履修する。

